

## 1 品種の特徴

- 夕焼けのように鮮やかな赤橙色をしており、甘みが強く、ほどよい酸味がある。
- 早く成熟する特徴があり、11月中旬から出荷できる。
- 皮がむきやすく、種もほぼないため、食べやすい。

## 2 品種開発の経緯

- 果樹の中でもミカンは生産量が多く、生産量が多い年には出荷が集中して市場価格が低迷する。このことは、農家の経営不安定要因にもなっており、県内生産者からは、一般的なミカンと差別化でき、有利販売につながる愛知県のオリジナル品種が求められてきた。
- 県農業総合試験場（常緑果樹研究室、蒲郡市）において、1986年に交配を開始。「千賀早生」<sup>せんがわせい</sup>（温州みかん）と「ページ」（カンキツ）を交配。24年の歳月をかけ、2010年に育成完了。
- 2013年に品種登録。



## 3 栽培状況

- 2016年から本格的な栽培を開始し、2018年に出荷を開始した。

「夕焼け姫」の苗木の導入状況（2021年度まで）

農林水産 事務所名	尾張	知多	西三河	東三河	合計
面積	0.3ha	3.0ha	0.6ha	3.4ha	7.3ha

※ 導入苗木本数から面積換算

※ 普及目標面積（6.0ha）は、2020年度に達成

※ 2021年の出荷実績は、全て東三河地域で21.3t

## 4 シンボルマーク

- 夕焼け色に染まった果実と、お姫様をモチーフにしたマークと、「甘し、太陽の宝石」のキャッチフレーズで、夕焼け姫の高級感を表す。
- 商標登録がされており、**マルチ栽培※等の高品質栽培に取り組んだ「夕焼け姫」にのみ、シンボルマークをつけて販売**している。



マルチ栽培の様子

※ マルチ栽培とは、白色の透湿性シートを地面に敷き、雨水を抑制し土壌水分量を調整することで、甘みと酸味のバランスの取れた「コク」のあるおいしい果実を作る栽培方法。